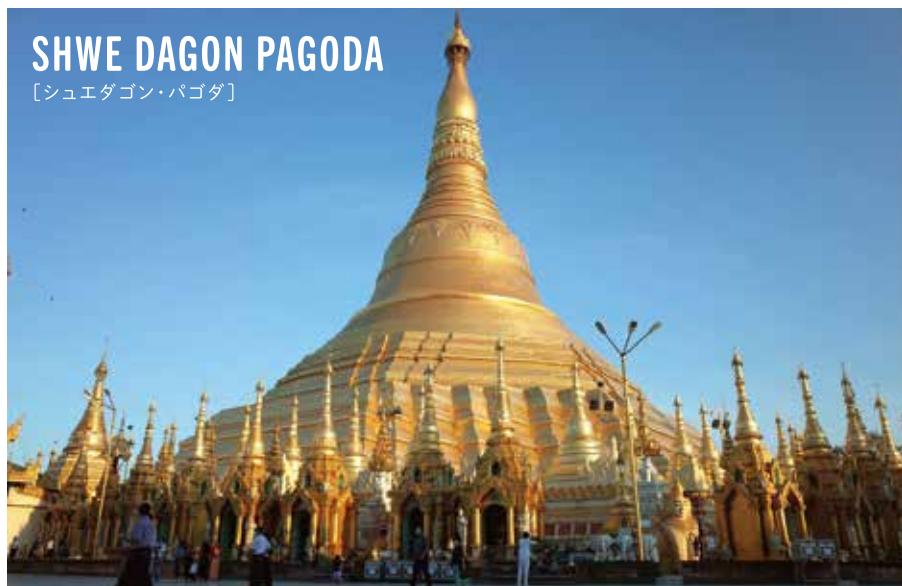




観光

2019年に世界遺産に登録されたバガンを中心に、観光地が充実しているミャンマー。悠久の時を刻むバガンの仏塔、ヤンゴン最大の観光スポットであるシュエダゴン・パゴダ、ミャンマー第二の都市であるマンダレー、唯一無二の景色を楽しめるインレー湖などがメジャーどころで、ほかにも屈指のビーチリゾートのガバリやコータウンなど見所は十分です。基本的には乾季の時期の観光がおすすめですが、バガンなどは雨季でも降雨が少ないので、1年中楽しむことが可能です。



SHWE DAGON PAGODA

[シュエダゴン・パゴダ]

ミャンマーを代表する佛教聖地であるシュエダゴン・パゴダ。紀元前6世紀にモン族の商人だった兄弟が、悟りを開いたばかりのブッダから頭髪を譲り受け、それをモン族の王・オッカラバに献上し、王が建立したというのが始まり。その後、幾度も改修を経て、100mの高さになりました。敷地面積は6万m²で、東京ドームの1.3個分に相当します。



<注意事項>

- ・靴は持ち込みをおすすめ。寺院内は裸足が基本で、入り口に靴を置いておくこともできますが、防犯の観点からもビニール袋などに入れて持ち込むのが無難です
- ・寺院内には飲料の売店はないため、飲み物は持参するようにしてください
- ・服装に注意。ハーフパンツ、タンクトップなどの肌が見えるものは不可。また、靴下、ストッキングも禁止となっています
- ・外国人は1万Ksの拝観料がかかり、支払うとシールがもらえますので、それを目立つところに貼ってください

<観光ポイント>

- ・東西南北の入り口がありますが、拝観は時計回りが基本です
- ・自分の生まれた曜日の仏像があり、自分の年齢+1回の水かけをし、お願いごとをします
- ・年間イベントがあり、毎年満月の夜に人がごった返します。3月(ダバウン祭り)、5月(カソン祭り)、10月(タデインジュ祭り)、11月(カティエン祭り)
- ・パゴダ以外にもお堂や祠が充実し、じっくり周るのであれば、2時間は見ておいた方がいいでしょう



パゴダだけではなく、御堂や祠が数多くあり、それぞれに仏像や神様が祀られています。昔から言われている参拝すべき9つのポイントや自分が生まれた曜日の神様、菩提樹など見どころが充実。夜になるとパゴダが美しくライトアップされ、撮影するには絶好です

BAGAN

[バガン]



ミャンマー在住時に絶対行っておきたい観光名所。世界三大仏教遺跡の一つであり、世界遺産にも登録され、今後も注目されるスポットです。群雄割拠の時代を経て、11世紀にビルマ族による初の統一王朝を成し遂げたバガンの見どころは、なんと言っても2000を超える仏塔(バゴダ)。悠久の時を刻む景色はかけがえのない体験となるでしょう。

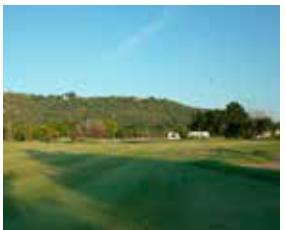


<観光ポイント>

- ・仏教芸術の宝庫であるバガンでは、まずは寺院周りが基本です。オールドバガン、ニューバガンなど地域によって特色があります
- ・気球に乗って、日の出を見るツアーが有名。それなりに高価になりますが、一生忘れられない体験となるはずです
- ・夕日を眺めるのもおすすめ。エーヤワディー川でボートに乗りながら眺めるもし、バガントワーから眺めるのも◎
- ・伝統の漆工芸が有名です。バガン王朝時代から交易品として発展した歴史があり、ニューバガンに土産品が充実しています

Mandalay

[マンダレー]



ミャンマー第2の都市として有名なマンダレー。旧王宮を中心に、碁盤の目に道路が走り、京都さながらの趣があります。王宮巡りやマンダレーヒルなど観光スポットも充実。

<観光ポイント>

- ・ミャンマー最後の王朝である王宮巡り。マンダレーの街並みを一望できる監視塔は絶好の撮影スポットです
- ・北部に位置するマンダレーヒル観光も◎。頂上から望むエーヤワディー川に沈む夕日が美しく、夕方に行くのもおすすめ
- ・マンダレーから車で約40分にあるアマラプラも人気。最も有名なのが、ウーベイン橋で夕暮れ時には多くの人が集まります

Inle Lake

[インレー湖]



風光明媚なリゾート地として有名なインレー湖。湖上で独自の生活文化を育むインター族の日常を垣間見ることができ、世界にどこにもない唯一無二の絶景と体験ができます。

<観光ポイント>

- ・インレー湖といえば、ボートでの水上散策。漁業や浮畳農業、水上家屋、ボート移動する地元民など見どころ満載
- ・インレー湖周辺では生活品など多くを地元で生産しています。船大工や織物、葉巻の工房などが有名です
- ・カッター遺跡巡り。インレー湖から車で約1時間、無数の仏塔が林立する寺院遺跡です。カッターに入るにはバオ族のガイドが必要